

平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オータケ  
 コード番号 7434 URL <http://www.kk-otake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 富雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 三浦 博隆

TEL 052-562-3311

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	11,171	△2.4	188	△16.0	232	△14.5	139	△27.8
25年5月期第2四半期	11,447	2.4	223	9.7	271	8.0	193	5.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	33.73	—
25年5月期第2四半期	46.68	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	15,280	9,929	65.0	2,393.73
25年5月期	14,780	9,920	67.1	2,391.68

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 9,929百万円 25年5月期 9,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	23.00	23.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	5.5	450	8.8	530	4.6	320	1.6	77.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	4,284,500 株	25年5月期	4,284,500 株
26年5月期2Q	136,508 株	25年5月期	136,508 株
26年5月期2Q	4,147,992 株	25年5月期2Q	4,147,992 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による金融緩和策や積極的な財政政策を受け、円安、株高が進行し、国内においては個人消費の回復傾向が定着しつつあります。海外経済につきましては、堅調な米国景気や欧州域内での景気の下げ止まり等、明るさが見られるものの、中国における経済成長の減速懸念もあり、先行き不透明な状況にあります。

当管材業界におきましては、住宅設備関連は堅調に推移しているものの民間設備投資が本格的回復に至っておらず、設備管材部門については厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、当社は新規取引先の開拓や既存取引先でのシェアアップ等、営業基盤の拡充に努めてまいりましたが、市場規模が縮小する中、同業者間の競争は厳しさを増し、依然として厳しい経営環境となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は111億71百万円（前年同期比2.4%減）となりました。利益につきましては、売上高の減少により売上総利益額が減少し営業利益が1億88百万円（前年同期比16.0%減）、経常利益は2億32百万円（前年同期比14.5%減）となり、四半期純利益につきましては1億39百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は152億80百万円となり、前事業年度末と比べ4億99百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が2億42百万円、電子記録債権が2億21百万円増加したこと等によります。

負債合計は53億51百万円となり、前事業年度末と比べ4億91百万円増加しました。この主な要因は賞与引当金が20百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が4億75百万円、未払法人税等が53百万円増加したこと等によります。

純資産は99億29百万円となり、前事業年度末と比べて8百万円増加しました。この主な要因は配当金を95百万円支払い、その他有価証券評価差額金が36百万円減少しましたが、四半期純利益を1億39百万円計上したことによります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ1億5百万円増加し、14億95百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は2億86百万円（前年同期は1億61百万円の獲得）となりました。これは主に売上債権が4億64百万円増加しましたが、仕入債務が4億75百万円増加したこと、税引前四半期純利益を2億29百万円計上したこと等によります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は85百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得に24百万円、無形固定資産の取得に55百万円、投資有価証券の取得に7百万円使用したこと等によります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は95百万円（前年同期は1億3百万円の使用）となりました。これは配当金を95百万円支払ったことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現在のところ平成25年10月10日付「平成26年5月期 第1四半期決算短信[日本基準]（非連結）」にて公表いたしました業績予想を修正せず、据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389,963	1,495,456
受取手形及び売掛金	7,168,363	7,410,796
電子記録債権	172,210	394,178
商品	1,438,289	1,361,110
繰延税金資産	67,823	57,036
その他	36,055	31,537
貸倒引当金	△34,324	△36,399
流動資産合計	10,238,381	10,713,715
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	620,938	604,246
土地	2,504,226	2,504,226
その他（純額）	53,443	68,787
有形固定資産合計	3,178,608	3,177,260
無形固定資産		
投資その他の資産	1,768	57,113
投資有価証券	1,208,698	1,157,502
関係会社株式	23,000	23,000
繰延税金資産	67,987	94,849
その他	123,524	125,096
貸倒引当金	△61,118	△67,711
投資その他の資産合計	1,362,092	1,332,736
固定資産合計	4,542,469	4,567,110
資産合計	14,780,851	15,280,825
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,816,209	4,291,798
未払法人税等	34,403	87,422
賞与引当金	116,535	96,048
その他	143,709	134,538
流動負債合計	4,110,856	4,609,807
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	156,409	156,409
退職給付引当金	540,662	534,604
資産除去債務	17,273	17,372
その他	34,978	33,478
固定負債合計	749,323	741,864
負債合計	4,860,180	5,351,672

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,312,207	1,312,207
資本剰余金	1,315,697	1,315,697
利益剰余金	7,589,395	7,633,889
自己株式	△238,117	△238,117
株主資本合計	9,979,182	10,023,675
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	306,472	270,461
土地再評価差額金	△364,983	△364,983
評価・換算差額等合計	△58,510	△94,522
純資産合計	9,920,671	9,929,153
負債純資産合計	14,780,851	15,280,825

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	11,447,291	11,171,480
売上原価	10,025,539	9,802,372
売上総利益	1,421,752	1,369,107
販売費及び一般管理費	1,197,791	1,180,909
営業利益	223,960	188,198
営業外収益		
受取利息	246	201
受取配当金	13,491	15,974
仕入割引	48,700	43,221
その他	10,151	7,900
営業外収益合計	72,590	67,299
営業外費用		
支払利息	2,682	2,436
売上割引	20,390	20,256
その他	2,042	685
営業外費用合計	25,115	23,378
経常利益	271,435	232,119
特別利益		
投資有価証券売却益	2,571	—
特別利益合計	2,571	—
特別損失		
投資有価証券評価損	7,137	—
会員権評価損	—	3,000
特別損失合計	7,137	3,000
税引前四半期純利益	266,869	229,119
法人税、住民税及び事業税	44,000	82,500
法人税等調整額	29,221	6,722
法人税等合計	73,221	89,222
四半期純利益	193,647	139,897

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	266,869	229,119
減価償却費	25,078	28,026
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30,820	8,668
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34,309	△20,487
受取利息及び受取配当金	△13,737	△16,176
支払利息	2,682	2,436
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,137	—
会員権評価損	—	3,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△290,622	△464,539
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34,549	77,179
仕入債務の増減額 (△は減少)	437,886	475,588
その他	△182,721	△20,766
小計	283,634	302,049
利息及び配当金の受取額	13,737	16,176
利息の支払額	△2,682	△2,436
法人税等の支払額	△133,144	△29,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,544	286,246
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,925	△24,559
有形固定資産の売却による収入	66	184
無形固定資産の取得による支出	—	△55,363
投資有価証券の取得による支出	△6,922	△7,612
投資有価証券の売却による収入	4,823	—
貸付金の回収による収入	1,581	2,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,377	△85,349
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△103,699	△95,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,699	△95,403
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54,467	105,492
現金及び現金同等物の期首残高	950,817	1,389,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,005,285	1,495,456

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、管工機材の卸業者として、バルブ、継手、冷暖房機器、衛生・給排水機器およびパイプ類等の仕入・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。